

2つのカメラを搭載した、先進の安全技術。

※装備されるグレード等の詳細はEquipment(主要装備)をご確認ください。

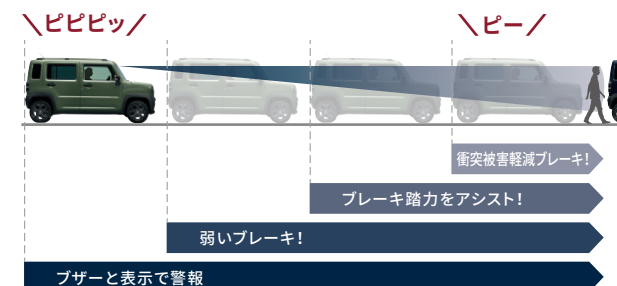


デュアルカメラブレーキサポート

運転支援機能 ※1※2※3※4※5〈全車標準装備〉

前方の車両や歩行者を検知し、衝突のおそれがあれば音や表示によって警告します。衝突の可能性が高まると弱いブレーキを作動。その間ブレーキペダルを踏むとブレーキ踏力をアシスト。さらに衝突の可能性が高まるとブレーキを制御し、衝突の回避または衝突時の被害軽減を図ります。

■デュアルカメラブレーキサポート作動イメージ図



*衝突被害軽減ブレーキ機能作動時は強いブレーキがかかりますので、走行前にすべての乗員が適切にシートベルトを着用していることを確認してください。

*衝突被害軽減ブレーキ機能作動後は、クリープ現象により前進しますので、必ずブレーキペダルを踏んでください。



全車安全運転サポート車(サポカーS・ワイド)に該当

経済産業省や国土交通省などが普及啓発を推進している、高齢者を含む運転者を先進安全技術で支援し交通事故防止を図る「安全運転サポート車(サポカーS・ワイド)」に該当しています。サポカーS・ワイドは、被害軽減ブレーキ(対歩行者)、ペダル踏み間違い時加速抑制装置、車線逸脱警報、先進ライトを搭載した車です。

*詳細についてはマツダオフィシャルウェブに掲載しております。右記QRよりご覧ください。



※1 状況によっては正常に作動しない場合があります。※2 対象物、天候状況、道路状況などの条件によっては、衝突を回避または被害を軽減できない場合があります。※3 ハンドル操作やアクセル操作による回避行動を行っているときは、作動しない場合があります。※4 ドライバーの安全運転を前提としたシステムであり、事故被害の軽減を目的としています。したがって、各機能には限界がありますので過信せず、安全運転を心がけてください。

●その他、重要な注意事項がございますので、営業スタッフにおたずねいただくか取扱書をご確認ください。

誤発進抑制機能〔前進時〕 運転支援機能 ※1※2※3※4※6

〈全車標準装備〉

前方に壁などがある駐車場などで、シフトをD・M・L(Sモード含む)の位置でアクセルペダルを強く踏み込むと、最長約5秒間、エンジン出力を制御。急発進・急加速による衝突回避に貢献します。

■誤発進抑制機能〔前進時〕作動イメージ図



*ブレーキをかけて車両を停止させる機能はありません。

後退時ブレーキサポート 運転支援機能 ※1※2※3※4※7

〈全車標準装備〉

リアバンパーに内蔵した4つの超音波センサーで後方の障害物との距離を測り、4段階のブザー音で接近をお知らせ。後方の障害物との衝突の可能性が高まるとブレーキを制御し、衝突の回避または衝突時の被害軽減を図ります。

■後退時ブレーキサポート作動イメージ図



*衝突被害軽減ブレーキ機能による車両停車後は、クリープ現象により後退しますので、必ずブレーキペダルを踏んでください。

誤発進抑制機能〔後退時〕 運転支援機能 ※1※2※3※4※8

〈全車標準装備〉

後方に障害物があるにも関わらずシフトをR(後退)の位置でアクセルペダルを強く踏み込むと、エンジン出力を制御して急な後退を防止。うっかり誤操作による衝突回避に貢献します。

■誤発進抑制機能〔後退時〕作動イメージ図



アダプティブクルーズコントロール(ACC)〔全車速追従機能付〕 運転支援機能 ※1※4※9 〈全車標準装備〉

高速道路や自動車専用道路を走行中、ステアリングのACCスイッチを操作すると、ステレオカメラで先行車との距離を測定。設定した車間距離を適切に保ちながら、加速・減速、さらに停止まで自動追従します。高速道路や自動車専用道路での長距離運転や渋滞走行時の発進・停止を頻繁に繰り返す状況などで、運転操作の負担を軽減します。

*追従走行は、約40km/h未満でも作動し、停止まで継続します。*追従走行中の先行車が停止すると自車も停止し、その後約2秒でブレーキは解除されます。停止を続ける場合は、必ずブレーキペダルを踏んでください。*道路状況および天候状況等によっては、ご使用にならない場合があります。また、ACCの制御には限界があります。装置を過信せず、常に安全運転に努めてください。*高速道路や自動車専用道路で使用してください。

例:100km/hに設定した場合

■定速走行



先行車がない場合は、ドライバーが設定した速度をキープ。

■減速走行



先行車の車速にあわせて減速して走行。

■追従走行



先行車の車速にあわせて走行。

■追従走行/停止(全車速に対応)



先行車が停止した場合、自車も停止。約2秒間は停止を保持。

■加速走行



先行車がいなくなると、設定した速度まで加速して定速走行。

*イラストは高速道路や自動車専用道路での走行例です。



〈作動条件〉 ※5 自車速度約5km/h～約100km/hで走行中、前方の車両や歩行者を検知し、システムが衝突の可能性があると判断した場合。作動したときの速度が約5km/h～約50km/h(対象が歩行者の場合は約5km/h～約30km/h)であれば、衝突を回避できる場合があります。周囲の環境や対象物の動きなどによっては、警報のみでブレーキが作動しない場合があります。また、警報と同時に衝突被害軽減ブレーキが作動する場合があります。 ※6 シフトがD・M・L(Sモード含む)の位置で停車または徐行中(約10km/h以下)、前方約4m以内に障害物を検知している状態で、アクセルペダルを強く踏み込んだ場合。 ※7 約10km/h以下で後退中、後方約3m以内に障害物を検知し、システムが「このままでは衝突が避けられない」と判断した場合。 ※8 停車または約10km/h以下で後退中、後方約3m以内に障害物を検知している状態で、アクセルペダルを強く踏み込んだ場合。 ※9 先行車を検知せず約40km/h以上、または先行車を検知して約1km/h以上で走行中にシステムをONにした場合。 ●その他、重要な注意事項がございますので、営業スタッフにおたずねいただくか取扱書をご確認ください。

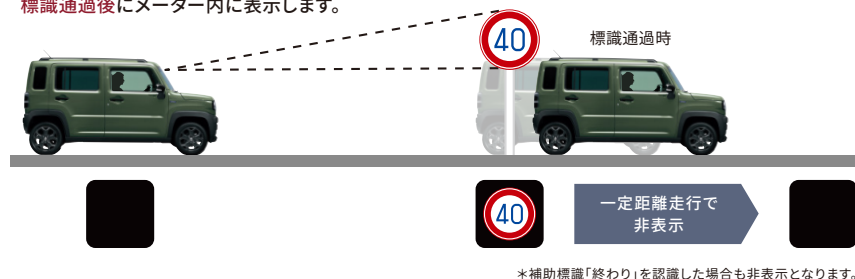
*画像は説明のためのイメージです。

標識認識機能（進入禁止／はみだし通行禁止／最高速度／一時停止）※1※2※3〈全車標準装備〉

走行中に、ステレオカメラが認識した“最高速度”、“はみ出し通行禁止”の標識を標識通過後にメーター内に表示し、ドライバーにお知らせします。

■最高速度／はみ出し通行禁止作動イメージ図

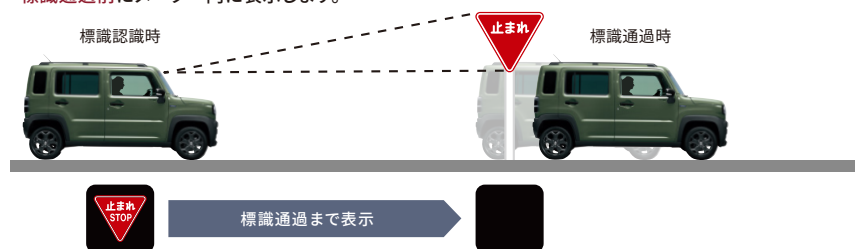
標識通過後にメーター内に表示します。



走行中に、ステレオカメラが認識した“一時停止”、“車両進入禁止”の標識を標識通過前にメーター内に表示し、ドライバーにお知らせします。

■一時停止／車両進入禁止作動イメージ図

標識通過前にメーター内に表示します。



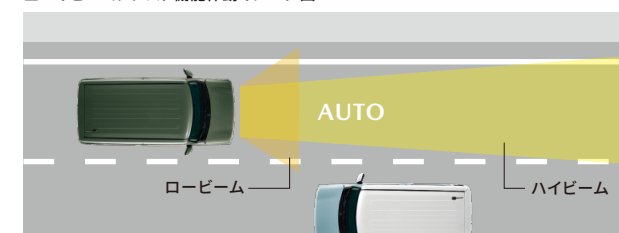
■認識する標識



ハイビームアシスト機能※1※2※4〈全車標準装備〉

ヘッドランプをハイビームにして走行中、前方に対向車や先行車がいったり、明るい場所を走行すると自動でロービームに。対向車や先行車がいなくなったり、周囲が暗くなると自動でハイビームに戻ります。

■ハイビームアシスト機能作動イメージ図

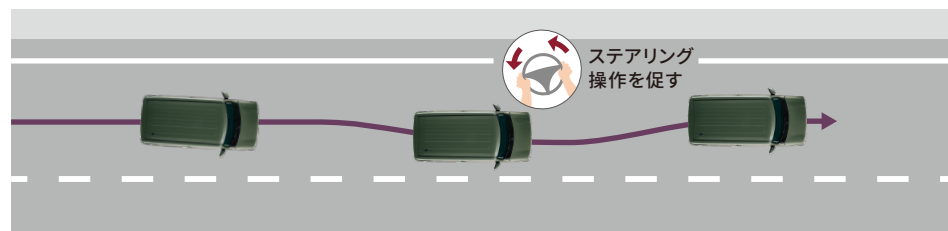


※1 状況によっては正常に作動しない場合があります。※2 ドライバーの安全運転を前提としたシステムであり、事故被害の軽減を目的としています。したがって、各機能には限界がありますので過信せず、安全運転を心がけてください。〈作動条件〉※3 走行中にステレオカメラが最高速度、はみ出し通行禁止、一時停止、車両進入禁止、補助標識「終わり」の標識を認識した場合。※4 約30km/h以上で走行中、スイッチレバーのつまみを「AUTO」の位置にし、ヘッドランプが点灯した状態でレバーを車の前方向に押し、ハイビームにしているとき。
●その他、重要な注意事項がございますので、営業スタッフにおたずねいただくか取扱書をご確認ください。

車線逸脱抑制機能 運転支援機能 ※1※2※5 〈全車標準装備〉

機能をONの状態で行走中、カメラが左右の区画線を検知。車線逸脱の可能性が高いとシステムが判断した場合に、ドライバーに車線逸脱防止方向へのステアリング操作を促し、車両を車線の内側に戻すように支援をします。

■車線逸脱抑制機能作動イメージ図

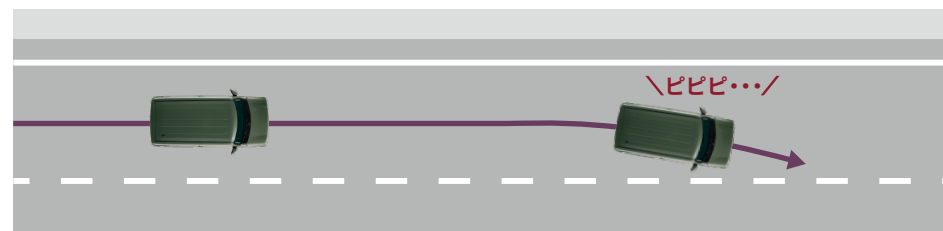


*車線逸脱抑制機能はドライバーがステアリング操作をしている間のみ作動します。*ドライバーの緊急操舵時は、ドライバーの操舵を妨げません。
*ウインカーが出ている間は、車線変更の意図があると判断し、車線逸脱抑制機能を一旦停止します。

車線逸脱警報機能 ※1※2※6 〈全車標準装備〉

走行中に左右の区画線を検知して進路を予測。前方不注意などで車線をはみ出しそうになると、ブザー音などの警報によってドライバーに注意を促します。

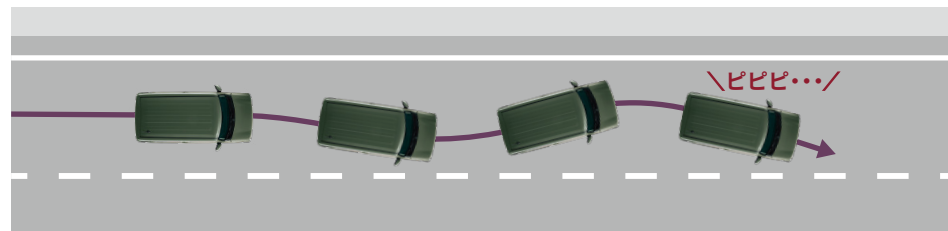
■車線逸脱警報機能作動イメージ図



ふらつき警報機能 ※1※2※7 〈全車標準装備〉

走行中に左右の区画線を検知して、自車の走行パターンを計測。車両が蛇行するなど、システムが「ふらつき」と判断した場合、ブザー音などの警報によってドライバーに注意を促します。

■ふらつき警報機能作動イメージ図



先行車発進お知らせ機能 ※1※2※8 〈全車標準装備〉

停車中、前のクルマが発進して約4m以上離れても停車し続けた場合、ブザー音やメーター内の表示によって、ドライバーに先行車の発進をお知らせします。

■先行車発進お知らせ機能作動イメージ図



※5 機能をONの状態です約65km/h以上で走行中、車線の左右区画線を検知し、進路を予測。システムが車線を逸脱すると判断した場合。※6 約60km/h以上で走行中、車線の左右区画線を検知し、進路を予測。システムが車線をはみ出すと判断した場合。※7 約60km/h以上で走行中、車線の左右区画線を検知し、自車の走行パターンを計測。システムが「ふらつき」と判断した場合。
※8 シフトがD・N・M・L (Sモード含む) の位置でブレーキ操作をして停車中、先行車が発進して約4m以上離れた場合。
●その他、重要な注意事項がございますので、営業スタッフにおたずねいただくか取扱書をご確認ください。

見えない部分の安全確認もしっかりサポート。

※装備されるグレード等の詳細はEquipment(主要装備)をご確認ください。

全方位モニター用カメラ(フロント/サイド左右/バック) ※1※2※3※4※5※6 〈標準装備:ZS・XT・ZT、メーカーセットオプション(全方位モニター用カメラパッケージ):XS〉モニター表示には、いずれも別売ショップオプションの全方位モニター対応ナビゲーションの装着が必要です。

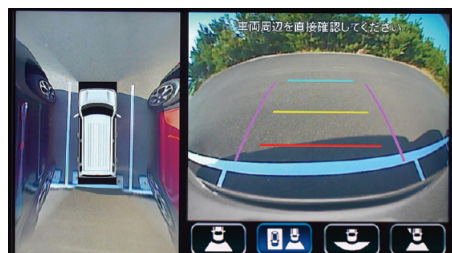
「全方位モニター用カメラ装着車」には、クルマの前後左右に4つのカメラを設置。全方位モニター対応ナビゲーション(ショップオプション)を装着すれば、クルマを真上から見たような映像などを映し出す「全方位モニター」に。見通しの悪い場所や人などが近づいてくるとお知らせする「左右確認サポート機能」も前後に装備しています。

※前方/後方映像はシフトをRに入れたときと後方映像に。P、R以外のシフト位置では前方映像となります。※全方位モニター用カメラパッケージ装着車は、全方位モニター対応ナビゲーションの装着を前提とした仕様です。※全方位モニター対応ナビゲーションの詳細はアクセサリカタログをご覧ください。※字光式ナンバープレートを装着した場合、全方位モニターの映像が一部遮られることがあります。

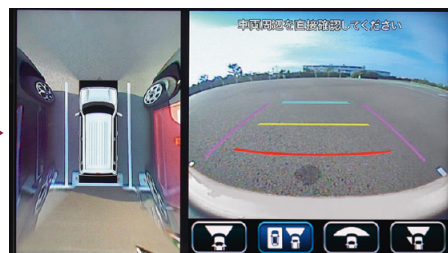
■フロントビュー自動表示機能(切り返し時)

シフトレバーをバックからドライブに切り替えた際、フロントビューに自動で切り替わります。手動で切り替える必要がなく、スムーズな駐車をサポートします。

■シフトRイメージ図



■シフトDイメージ図



※10km/hを超えるとカメラ映像はOFFになります。

■すれ違い支援機能

狭い道を低速で走行中、自動でモニターに「サイド(左側)+フロント映像」を表示。狭い道でのすれ違いで死角を減らし、壁や対向車との接触防止をサポートします。

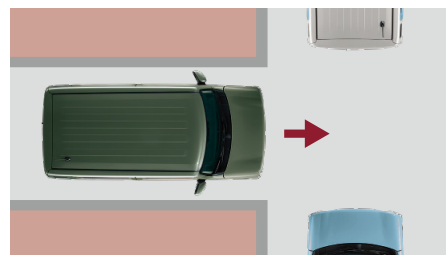
■サイド(左側)+フロント映像イメージ図



■左右確認サポート機能

見通しの悪い路地から出るときや駐車スペースからバックで出るときなど、運転席から見えにくい周辺状況の左右確認をサポートします。

■前方左右確認サポート機能動作イメージ図



見通しの悪い細い路地から道路に出るとき

■後方左右確認サポート機能動作イメージ図



駐車スペースからバックで出るとき

■3Dビュー

クルマの周囲360°を立体的に表示。クルマを斜め上から見たような「室外視点」と、運転席から車体を透かして見たような「室内視点」を切り替えて表示します。

■離れた視点から全体を見渡せる「室外視点」イメージ図



■車体を透かした形で見える「室内視点」イメージ図



表示切り替えスイッチ



※1 全方位モニターはドライバーの駐車等を補助するものであり、あらゆる状況で自車の周辺環境を映し出すものではありません。またカメラの位置より上にある物体は映像で見ることができません。そのほかバンパーによる死角や、トップ映像にはカメラ映像間のズレによる死角があります。※2 システムの能力には限りがありますので、ドライバーは天候や路面状況にあわせた運転、周辺の車両・歩行者の確認、的確な運転操作など安全運転に努めてください。車両の操作をするときはこの機能に頼らず、周囲の安全をミラーや目視で直接確認してください。※3 左右確認サポート機能は、すべての移動物を検知できるわけではありません。また、静止しているものは検知できません。※4 すれ違い支援機能は、すべての対向車を検知できるわけではありません。〈動作条件〉※5 すれ違い支援機能:狭い道を低速(約5km/h以下)で走行中、ステレオカメラが対向車とのすれ違いを検知したとき。※6 左右確認サポート機能:自車が発進前/後退前に停止しているとき、または微低速で前進/後退しているとき。●その他、重要な注意事項がございますので、営業スタッフにおたずねいただくか取扱書をご確認ください。

幅広く用意した安全技術がドライブの安心を支えます。

※装備されるグレード等の詳細はEquipment(主要装備)をご確認ください。

歩行者傷害軽減ボディ<全車標準装備>

万一の衝突時でも、歩行者の頭部
脚部へのダメージを軽減します。

- ① 衝撃吸収フロントバンパー構造
- ② 衝撃吸収フードパネル構造
- ③ 衝撃吸収フェンダー構造
- ④ 衝撃吸収フードヒンジ構造
- ⑤ 衝撃吸収ワイパー構造
- ⑥ 衝撃吸収カウルトップ構造
- ⑦ 衝撃吸収ルーフ構造



SRS^{※7}エアバッグシステム 運転席&助手席、 カーテン&運転席・助手席サイド<全車標準装備>

■エアバッグ膨張時イメージ図



※7 SRS: Supplemental Restraint System (補助拘束装置) 運転席&助手席エアバッグは横方向や後方からの衝撃、横転および転覆した場合や正面からの衝撃が小さい場合には作動しません。カーテン&フロントサイドエアバッグは横方向からの衝撃を感知した場合、感知した側が作動しますが、正面や後方からの衝突時や衝撃が小さい場合には作動しません。すべてのSRSエアバッグはシートベルトをしたうえで補助拘束装置です。シートベルトは必ず装着してください。

ヒルホールドコントロール<全車標準装備>

坂道での発進時には、クルマが後ろに下がらないように、ブレーキペダルからアクセルペダルに踏み替える瞬間、一時的にブレーキが作動(最長約2秒間)。落ち着いて発進ができます。

エマージェンシーストップシグナル<全車標準装備>

約55km/h以上で走行中に急ブレーキを検知すると、ハザードランプが自動で高速点滅。後続車に急ブレーキを知らせ、注意を促します。

運転席/助手席シートベルトウォーニング^{※8} <全車標準装備>

シートベルトを装着せずに発進すると、警告音で装着を促します。

※8 助手席に荷物などを載せると、荷物の重さや形状によってはシートベルトウォーニングが作動して、警告音とメーター内の警告ランプが点灯する場合があります。

4輪アンチロック・ブレーキ・システム(4W-ABS)& 電子制御制動力配分システム(EBD)、ブレーキアシスト <全車標準装備>

滑りやすい路面での急ブレーキ時には、4W-ABSが作動。タイヤのロックを防ぎ、車体を安定させて、ハンドル操作で障害物を回避できるようにサポートします。さらに、ブレーキ踏力を補助するブレーキアシストや最適な制動力を前後に自動配分する電子制御制動力配分システム(EBD)を装備。さらなる安全性に貢献しています。

※4W-ABS&EBDはあくまでもドライバーのブレーキ操作を補助するシステムです。4W-ABS&EBD非装着車と同様に、コーナー等の手前では十分な減速が必要です。安全運転を心がけてください。

ダイナミック・スタビリティ・コントロールシステム [横滑り防止機構] (DSC) &トラクション・コントロール ・システム(TCS) <全車標準装備>

さまざまなセンサーによって走りを監視し、必要に応じてエンジンとブレーキをコンピューター制御。カーブなどでのタイヤのスリップや横滑り、急ブレーキ時のタイヤロックなどを抑え、車両の安定走行に貢献します。

※エンジントルク低減の度合いやブレーキをかける車輪とその強さは走行状況により変化します。DSC&TCSはあくまでも安定走行を補助する装置です。タイヤと路面間のグリップの限界を超えてスリップや横滑りを起こした場合はDSC&TCSが作動したとしても、その効果は期待できません。

オートライトシステム<全車標準装備>

走行中、周囲の明るさや暗さに応じて、ヘッドランプなどを自動で点灯/消灯します。

ライト自動消灯システム<全車標準装備>

ライトスイッチがAUTOの位置でなくても、エンジンを切って運転席のドアを開けると自動でヘッドランプなどを消灯し、バッテリー上がりを予防します。

その他の安全装備

軽量衝撃吸収ボディ<全車標準装備>

頭部衝撃軽減構造インテリア<全車標準装備>

頭部衝撃緩和フロントシート<全車標準装備>

シートベルト フロントシート プリテンショナー& 可変ロードリミッター機構付ELR3点式×2、 リアシート ELR3点式×2 <全車標準装備>

リアシート i-Size/ISOFIX^{※9}対応チャイルドシート固定 口アアンカレッジ&トップテザーアアンカレッジ <全車標準装備>

※9 国際標準化機構(ISO)が定めたチャイルドシート取付装置に関する規格。
※i-Size/ISOFIX対応チャイルドシートの本車両への適合性について、詳しくは車両付属の取扱書をお読みいただくか、営業スタッフにおたずねください。
※チャイルドシートを取り付ける際は、車両およびチャイルドシート付属の取扱書をお読みください。

イモビライザー(国土交通省認可品)<全車標準装備>

セキュリティアラームシステム<全車標準装備>

※システム作動はリクエストスイッチ、アドバンスドキーレスエントリーでの施錠によって開始します。
※セキュリティアラームシステムは、作動しない状態に設定することができます。
詳しくは営業スタッフにおたずねください。

*画像は説明のためのイメージです。